

1. 日 時 令和3年10月13日(水) 6時間目
2. 学年・組 第3学年 D組 32人
3. 場所 3年D組教室
4. 科目 コミュニケーション英語Ⅱ  
単元名 : Lesson5 Broaden Your Horizons  
使用教材 : New Discovery (開隆堂)

## 5. 指導にあたって

## (1) 単元観

本単元では日本人が行う海外旅行の特性やホームステイを通して学べる文化の違い、利点について学習する。Part1では日本人の海外旅行の特徴に対する説明と、そこから見えるホームステイの意義を述べている。Part2では、ロシアにホームステイするアメリカ人が注意すべき動作や行動について、Part3ではアメリカにホームステイしたロシア人が驚いたこと、Part4ではホームステイをすることの利点を述べている。本文の内容を理解しながら、多文化に対する自分の意見を持つことを目標にする。

## (2) 生徒観

本学級の生徒たちは全体的に明るく、活動に対して前向きなクラスである。問題意識を高く持っており、分からないところがあれば自ら積極的に質問する姿が見られるなど反応が良い。一方で英語は単語レベルの理解にとどまっている生徒も見られ、表現することや説明することに苦手意識を持っている生徒も多い。

## (3) 指導観

本単元では下記のことに留意して指導する。

- ・海外旅行・留学に興味の向く導入を行う。
- ・活動を活発に行える場を作り、各活動の前に目的や意義を確認する。
- ・活動の最中は内容に沿った話をしているか、机間巡視を行う。
- ・テンポ感を大切にし、ある程度暗記できるよう活動を工夫する。
- ・異文化理解に対しての面白さを感じられる活動を行う。

## 6. 単元の目標

- (1) 日本人の海外旅行の特徴や国による文化の違いを理解する。
- (2) 新出単語や新出の文法事項を理解し、アウトプットできる力を身につける。
- (3) 本文の内容を理解する。
- (4) 海外との比較を通し違いを学び、自分の意見を持つ。

7. 単元の評価基準

ア, コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ, 外国語表現の能力	ウ, 外国語理解の能力	エ, 言語や文化についての知識・理解
①積極的に取り組むことができる。 ②自ら進んで発表することができる。 ③表現することを求められた際、うまく表現できないことがあっても既知の語句や本文中の表現を用いるなどして表現しようとするすることができる。(話すこと、読むこと、書くこと)	①アクセントに注意しながら正しい発音ができる。 ②新出単語や文法を用い、自分の意見を書いたり話したりすることができる。	①英語を読んで、または聞いて、内容を理解し要点を捉えることができる。 ②新出単語や文法、本文の内容が理解できる。	①英文を通じて異文化や世界のニュースを理解することができる。

8. 単元の指導計画 (本時 5 時間目/10 時間中)

時間	ねらい・学習内容	単元の評価基準
1	【Lesson5】 〈Part1 多くの日本人の海外旅行の特徴〉 新出単語の復習、新出文法の解説、 本文の内容理解	ア①②③ イ①② ウ①②
2	本文の内容理解、 本文の内容を発展させた活動	ア①②③ イ①② ウ①②
3	本文の音読活動、Part1 のまとめ 〈Part 2 ロシアでホームステイするアメリカ人が注意すべきこと〉 Part2 への導入、新出単語の導入、本文の内容理解	ア①②③ イ①② ウ①② エ①
4	新出単語の理解、暗記 本文の内容理解	ア①②③ イ①② ウ①②
5 本時	本文の内容理解、 本文の内容を発展させた活動	ア①②③ イ①② ウ①② エ①
6	新出文法の解説、Part2 のまとめ 〈Part3 アメリカにホームステイしたロシア人が驚いたこと〉 Part3 への導入、新出単語の導入、本文の内容確認	ア①②③ イ①② ウ①②
7	新出文法の解説、 本文の内容理解・暗記	ア①②③ イ①② ウ①②
8	本文の内容を発展させた活動、Part3 のまとめ 〈Part4 ホームステイをすることの利点〉 Part4 への導入、新出単語の導入、本文の内容理解	ア①②③ イ①② ウ①②
9	新出文法の解説、 本文の内容理解・暗記	ア①②③ イ①② ウ①②
10	本文の内容を発展させた活動、 Part4 のまとめ	ア①②③ イ①② ウ①② エ①

9. 本時の展開

(1) 主題 (題材名)

Lesson5 Broaden Your Horizons Part2

(2) 本時の目標

地域によって捉え方が違うジェスチャーを Part2 で学んだことを踏まえ、他の国の例を学ぶ。また、そこから視野を広げ自分事として捉え意見を言うことができる。

(3) 本時の指導の重点

教科書本文の内容を、生徒が十分に理解しているかを観察し、異文化や習慣の違いを学ぶ。また生徒一人ひとりが協働的に活動に取り組み、互いに意見を交換することができるよう努める。

(4) 展開

段階	学習活動	教師の動き	生徒の動き	目的/指導上の留意点
導入 3分	1,挨拶  2,前回の復習	・英語で挨拶をする。  ・Part2 の教科書本文の復習を口頭で行う。	・英語で挨拶をする。  ・教科書本文の内容を思い出す。	・英語で話す雰囲気を作る。  ・生徒が能動的に授業を行う雰囲気を作る。 ・全員が活動を行える状況かどうか確認する。
展開 10分  12分	3,教科書本文の発展活動① 海外のジェスチャー vs 日本のジェスチャー (生徒が問題を解く)  (マッチしているものは?)	・プリントを配る。 ・ロイロノートのカードを共有し活動の説明をする。 ・机間巡視  ・グループごとに答えを聞き、クラス全体にどの答えとマッチしていると思ったか訪ねる。 Q : Which is the best matching? ・グループで考えた答えを発表するよう指示。	・プリントを周りに回す。 ・説明を聞き活動を理解する。 ・グループで活動に取り組む。  ・グループごとにどの説明文 (グループA) がどの説明文 (グループB) とマッチするか答えを出す。  ・グループで考えた答えを発表する。	・開始前に、活動の目的を明確にする。 ・全員がロイロノートを用意できているか確認する。 ・自力で (検索せず) 解く努力をするよう促す。  ・発音・イントネーションに気をつけて読んでいるか確認。

15分	4,教科書本文の 発展活動② あなたが○○だ ったら？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5/8 くらいまで (5 グループくらい当てる)</li> <li>・追加情報を加え、国や地域ごとによつての傾向を説明しておく。</li> <li>・日本語訳をロイロノートで配る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況を説明し、どのように行動すべきか考えるよう指示。 (ロイロノートで回答させる)</li> <li>・回答をシェアし、国や民族による違い、傾向を述べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような行動を取るべきかグループ内で考える。</li> <li>・自分の解答をロイロノートに提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況説明で説明不足にならないよう注意する。</li> </ul>
まとめ 5分	5,終了の挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で挨拶をする。</li> </ul>		